楽天・インデックス・バランス・ファンド（株式重視型）/（均等型）/（債券重視型）

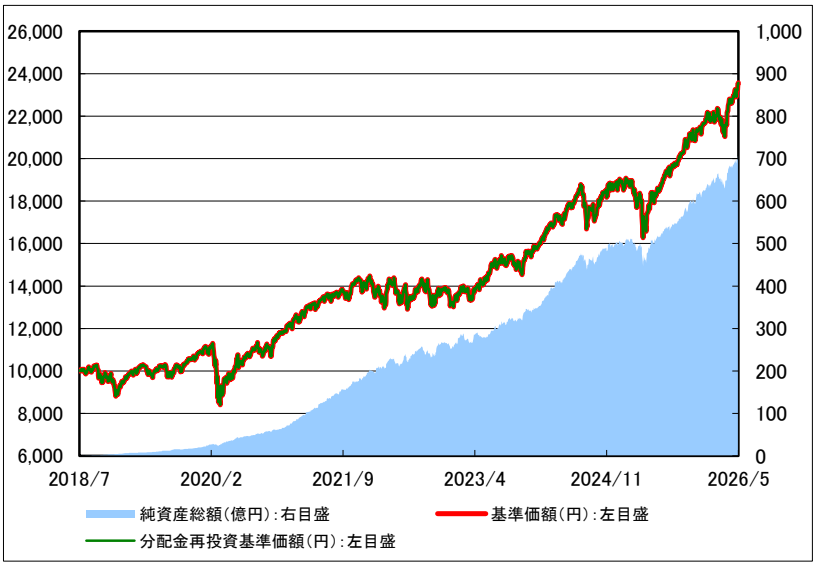
≪愛称：楽天インデックスバランス（株式重視型）/（均等型）/（債券重視型）≫

追加型投信/内外/資産複合

当初設定日 ： 2018年7月20日
作成基準日 ： 2026年5月29日

楽天・インデックス・バランス・ファンド（株式重視型）

基準価額と純資産総額の推移



※ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。また、分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

※ 信託報酬は、後述の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	23,571 円	+883 円
純資産総額	707.80 億円	+28.41 億円

設定来高値	23,571 円	（ 2026/5/29 ）
設定来安値	8,405 円	（ 2020/3/24 ）
当月中高値	23,571 円	（ 2026/5/29 ）
当月中安値	22,609 円	（ 2026/5/1 ）

ファンドの騰落率

	ファンド
1ヵ月	+3.9%
3ヵ月	+5.8%
6ヵ月	+10.3%
1年	+29.2%
3年	+63.9%
設定来	+135.7%

※ 分配金再投資基準価額を基に算出しております。

※ 騰落率は小数点第2位を四捨五入しております。年率換算しておりません。

分配金（税引前、1万口当たり）

設定来分配金合計額 0 円

決算期	2024年4月	2025年4月	2026年4月
分配金	0 円	0 円	0 円

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

※ ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資状況

組入資産	比率
バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF ＊	72.0%
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー － バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド － インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc ＊	28.6%
短期金融資産等	△0.6%
合 計	100.0%

＊以下、総称して「外国投資信託」ということがあります。

※ 比率は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。

※ 追加設定の計上タイミングと主要投資対象の購入処理のタイミングのずれ等により、主要投資対象の比率が100%超となり、「短期金融資産等」の比率がマイナスになることがあります。

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

楽天・インデックス・バランス・ファンド（均等型）

基準価額と純資産総額の推移

※ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。また、分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

※ 信託報酬は、後述の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	18,080 円	+514 円
純資産総額	99.87 億円	+3.72 億円

設定来高値	18,080 円	（ 2026/5/29 ）
設定来安値	8,979 円	（ 2020/3/24 ）
当月中高値	18,080 円	（ 2026/5/29 ）
当月中安値	17,527 円	（ 2026/5/1 ）

ファンドの騰落率

	ファンド
1ヵ月	+2.9%
3ヵ月	+3.6%
6ヵ月	+7.0%
1年	+20.5%
3年	+42.3%
設定来	+80.8%

※ 分配金再投資基準価額を基に算出しております。

※ 騰落率は小数点第2位を四捨五入しております。年率換算しておりません。

分配金（税引前、1万口当たり）

設定来分配金合計額　0　円

決算期	2024年4月	2025年4月	2026年4月
分配金	0　円	0　円	0　円

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

※ ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資状況

組入資産	比率
バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF	52.8%
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー － バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド － インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	47.1%
短期金融資産等	0.1%
合 計	100.0%

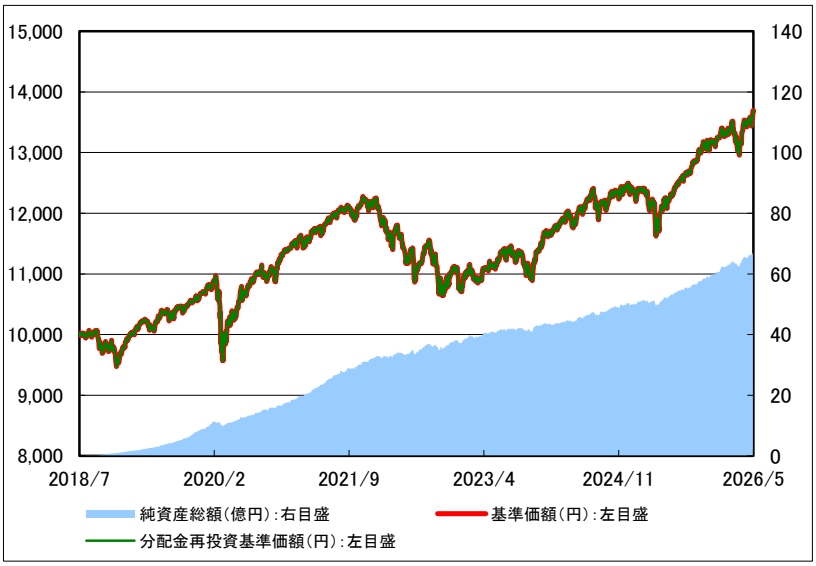
※ 比率は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。

※ 追加設定の計上タイミングと主要投資対象の購入処理のタイミングのずれ等により、主要投資対象の比率が100%超となり、「短期金融資産等」の比率がマイナスになることがあります。

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

楽天・インデックス・バランス・ファンド（債券重視型）

基準価額と純資産総額の推移



※ 基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の値です。また、分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

※ 信託報酬は、後述の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	13,698 円	+264 円
純資産総額	67.12 億円	+1.93 億円

設定来高値	13,698 円	（ 2026/5/29 ）
設定来安値	9,472 円	（ 2018/12/25 ）
当月中高値	13,698 円	（ 2026/5/29 ）
当月中安値	13,422 円	（ 2026/5/1 ）

ファンドの騰落率

	ファンド
1ヵ月	+2.0%
3ヵ月	+1.5%
6ヵ月	+3.7%
1年	+12.2%
3年	+22.8%
設定来	+37.0%

※ 分配金再投資基準価額を基に算出しております。

※ 騰落率は小数点第2位を四捨五入しております。年率換算しておりません。

分配金（税引前、1万口当たり）

設定来分配金合計額　0　円

決算期	2024年4月	2025年4月	2026年4月
分配金	0　円	0　円	0　円

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆・保証するものではありません。

※ ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資状況

組入資産	比率
バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF	33.2%
バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー － バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド － インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc	66.8%
短期金融資産等	0.1%
合 計	100.0%

※ 比率は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。

※ 追加設定の計上タイミングと主要投資対象の購入処理のタイミングのずれ等により、主要投資対象の比率が100%超となり、「短期金融資産等」の比率がマイナスになることがあります。

バンガード®・トータル・ワールド・ストックETF

※ 当ページの内容は作成基準日の前月の数値です。 2026年4月末現在

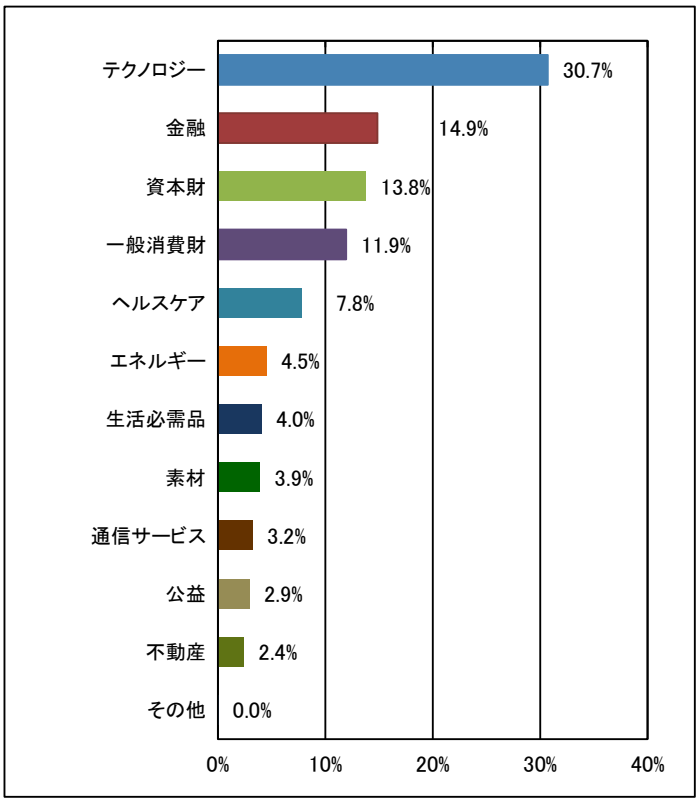
投資銘柄数

投資銘柄数	10,045

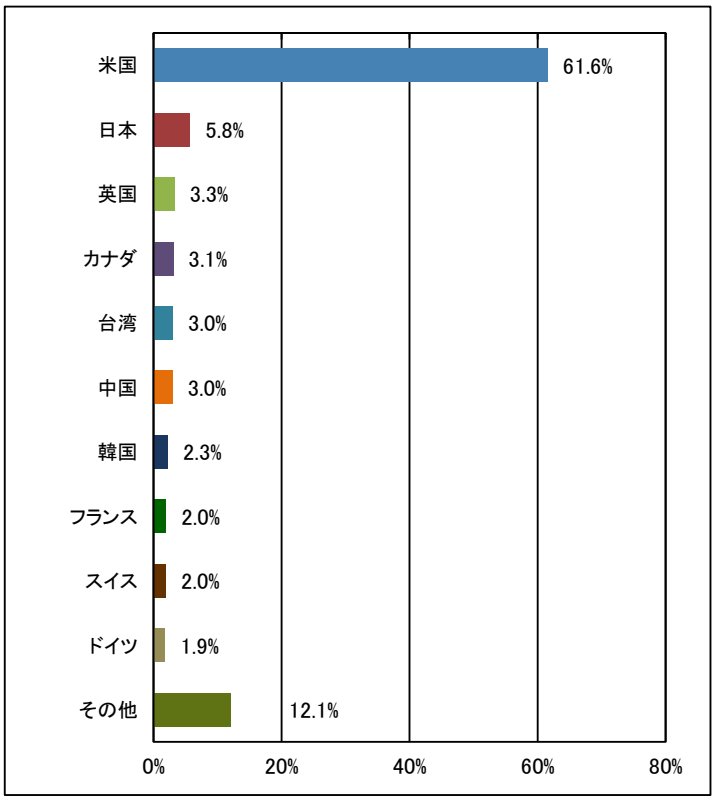
組入上位10銘柄

銘　柄	国・地域	業種	比率
NVIDIA Corp	米国	テクノロジー	4.1%
Apple Inc	米国	テクノロジー	3.5%
Microsoft Corp	米国	テクノロジー	2.7%
Amazon.com Inc	米国	一般消費財	2.3%
Alphabet Inc	米国	テクノロジー	2.0%
Broadcom Inc	米国	テクノロジー	1.7%
Alphabet Inc	米国	テクノロジー	1.6%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	台湾	テクノロジー	1.5%
Meta Platforms Inc	米国	テクノロジー	1.2%
Tesla Inc	米国	一般消費財	1.0%

業種別構成比



国・地域別構成比



※ 比率および構成比は、それぞれETFの純資産総額および組入株式に対する各資産の評価額の比率です。また、各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ 業種は、業種分類ベンチマーク(ICB)基準による分類です。

出所：バンガード社のホームページ掲載データおよびBloombergのデータを基に楽天投信投資顧問が作成

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

バンガード・インベストメント・シリーズ・ピーエルシー – バンガード・グローバル・ボンド・インデックス・ファンド – インスティテューショナル・プラス円ヘッジAcc

※ 当ページの内容は作成基準日の前月の数値です。 2026年4月末現在

特性値

投資銘柄数	14,667
最終利回り	4.2 %
平均クーポン	3.3 %
平均残存期間	8.2 年
平均デュレーション	6.1 年

※ 特性値について、投資銘柄数および平均クーポンは組入債券に対する値、その他は純資産総額に対する値です。

格付別構成比

AAA	13.8%
AA	43.8%
A	25.3%
BBB	16.0%
BB以下	0.0%
格付なし	1.1%

※ 格付は、Moody's社、Fitch社、S&P社のものを使用しています。1つの銘柄に対して3社の格付がある場合は中央値を、2社の格付がある場合は低い方を、1社の格付がある場合は当該格付を原則として採用しています。

国・地域別構成比（上位5位）

米国	45.4%
フランス	6.1%
ドイツ	5.6%
日本	5.5%
英国	4.4%

組入上位10銘柄

銘柄	クーポン	償還日	比率
United States Treasury Note/Bond	3.88%	2029/4/15	0.4%
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe	2.40%	2030/11/15	0.3%
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe	0.00%	2029/8/15	0.3%
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe	0.00%	2027/11/15	0.3%
French Republic Government Bond OAT	1.00%	2027/5/25	0.3%
United States Treasury Note/Bond	1.25%	2028/4/30	0.3%
United States Treasury Note/Bond	4.63%	2035/2/15	0.2%
United States Treasury Note/Bond	1.25%	2028/5/31	0.2%
United States Treasury Note/Bond	3.38%	2027/12/31	0.2%
United States Treasury Note/Bond	4.13%	2036/2/15	0.2%

※ 比率および構成比は、ファンドの純資産総額に対する各資産の評価額の比率です。また、比率は小数点以下第2位を四捨五入しています。

出所：バンガード社のホームページ掲載データを基に楽天投信投資顧問が作成

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

ファンドの特色 （株式重視型、均等型、債券重視型共通）

● 日本を含む全世界の株式および投資適格債券に分散投資します。
・ 外国投資信託への投資を通じて、実質的に日本を含む全世界の株式および投資適格債券に分散投資を行うことで、リスク分散を図りながら長期的な収益の獲得を目指します。

● 全世界株式および投資適格債券の代表的な指数に連動する投資成果を目指します。
・ 全世界株式の運用はFTSEグローバル・オールキャップ・インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行い、投資適格債券の運用はブルームバーグ・グローバル総合インデックスに連動する投資成果を目指して運用を行います。

【FTSEグローバル・オールキャップ・インデックスについて】
「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」は、大型株、中型株および小型株まで網羅する全世界の株式市場の動向を表す時価総額加重平均型の株価指数です。構成銘柄は、米国、欧州および日本などの先進国株式に加えて、中国やインドなどの新興国株式を含みます。

【ブルームバーグ・グローバル総合インデックスについて】
「ブルームバーグ・グローバル総合インデックス」は、日本を含む世界の投資適格債券の代表的な指数です。世界の国債に加え、政府関連債、社債および資産担保証券で構成されます。

● 「株式重視型」、「均等型」および「債券重視型」の各資産の基本配分は、以下の通りとします。なお、投資適格債券への投資にあたっては、原則として実質組入外貨建資産の対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
「株式重視型」 ： 各資産の基本配分は、株式70%、債券30%とします。
「均等型」 ： 各資産の基本配分は、株式50%、債券50%とします。
「債券重視型」 ： 各資産の基本配分は、株式30%、債券70%とします。

※ 資金動向、市況動向等に急激な変化が生じたとき等、ならびに投資信託財産の規模によっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

当ファンドは、FTSEインターナショナルリミテッド（以下「FTSE」といいます。）、ロンドン証券取引所（以下「LSEG」といいます。）（総称して、以下「ライセンス供与者」といいます。）のいずれによっても、支援、推奨、販売または販売促進するものではありません。
ライセンス供与者は、「FTSEグローバル・オールキャップ・インデックス」（以下、「本指数」といいます。）の使用およびいかなる時点における本指数値の利用から生じるいかなる結果に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何ら表明や保証を行うものではありません。
本指数はFTSEによって編集および計算されます。ライセンス供与者は、本指数の誤りについて何人に対しても責任を負わず（過失の有無を問わず）、かつ本指数の誤りに関して通知する義務を負いません。
FTSE®はLSEGの商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・グローバル総合インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、楽天投信投資顧問株式会社（以下「当社」）による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは当社とは提携しておらず、また、楽天・インデックス・バランス・ファンド（株式重視型）/（均等型）/（債券重視型）（以下、総称して「当ファンド」）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

投資リスク（株式重視型、均等型、債券重視型共通）

《基準価額の変動要因》

ファンドが投資信託証券を通じて実質的に投資する有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）の値動きにより、基準価額は変動します。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資家の皆様には、ファンドが有するリスクについてご理解のうえ投資判断をしていただくようお願いいたします。

【価格変動リスク】
当ファンドが投資する上場投資信託証券は、上場株式同様、市場で取引が行われ、市場の需給の影響を受けて価格が決定されます。需給環境の変化等により当該上場投資信託証券の価格が下落した場合には、基準価額の下落要因となります。

【株価変動リスク】
当ファンドが実質的に投資する株式の価格は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。当該株式の価格が下落した場合には、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】
当ファンドが実質的に投資する債券（公社債等）の価格は、市場金利の水準の動向により変動します。当該債券（公社債等）の価格が変動すれば基準価額の変動要因となります。

【為替変動リスク】
当ファンドは、実質的に投資する外貨建ての有価証券等について部分的に対円での為替ヘッジを行いますが、完全にはヘッジしないため、外貨レートが対円で下落した場合には、基準価額の下落要因となります。また、為替ヘッジを行うにあたり、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、通常金利差相当分を含むヘッジコストが発生し、基準価額の下落要因となります。

【流動性リスク】
当ファンドが実質的に投資する有価証券等の流動性は、需給環境や市場に対する相場見通し、経済・金融情勢等の変化、当該有価証券等が売買される市場の規模や厚み、市場参加者の差異等の影響を受けます。当該有価証券等の流動性が低下した場合、市場実勢から期待できる価格で売買が実行できず、不利な条件での売買を強いられる可能性があり、その場合、基準価額の下落要因となります。
なお、当該有価証券等の流動性が低下した場合、換金の申込みの受付が中止となる可能性や換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

【信用リスク】
当ファンドが実質的に投資する有価証券の価格は、発行体の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響を受けます。発行体の経営状態の悪化等により当該有価証券の価格が下落した場合には、基準価額の下落要因となります。

【カントリー・リスク】
当ファンドは、実質的に海外の金融・証券市場において投資を行うため、当該国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により金融・証券市場が混乱した場合には、基準価額が大幅に下落する可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

《その他留意点》

- 当ファンドの取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドに関連する法令・税制・会計等は、今後、変更される可能性があります。これに伴い、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 市況動向や資金動向等によっては、投資方針に沿った運用ができない可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
  分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
  投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

お申込みメモ （株式重視型、均等型、債券重視型共通）

購入単位	・・・販売会社により異なります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
購入価額	・・・購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは、販売会社にご確認ください。
換金価額	・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	・・・原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目以降に受益者にお支払いします。
申込締切時間	・・・原則として、営業日の午後3時30分までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。 ※販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にご確認ください。
購入・換金申込不可日	・・・以下のいずれかに該当する日には、申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所の休業日およびニューヨークの銀行の休業日 ・一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
換金制限	・・・投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	・・・取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は、受益権の取得申込み・換金請求の受付を中止すること、およびすでに受け付けた取得申込み・換金請求の受付を取消すことができます。
信託期間	・・・無期限（2018年7月20日設定） ※ただし、一定の条件により繰上償還する場合があります。
繰上償還	・・・委託会社は、各ファンドにおいて受益権の口数が10億口を下回ることとなったとき、または、この投資信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、投資対象とする投資信託証券が連動を目指す指数が改廃されたとき、この信託が投資対象とする上場投資信託証券が上場廃止となるときあるいは投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
決算日	・・・毎年4月15日（ただし、休業日の場合は翌営業日）
収益分配	・・・毎決算時に、原則として収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。
課税関係	・・・課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」および「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用はありません。

ファンドの費用 （株式重視型、均等型、債券重視型共通）

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料
ありません。

■ 信託財産留保額
ありません。

《投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用（信託報酬）
信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年0.132%（税抜0.12%）の率を乗じて得た額とします。

■ 投資対象とする投資信託証券における報酬
「株式重視型」 年0.072%程度
「均等型」 年0.080%程度
「債券重視型」 年0.088%程度
2025年10月末現在。今後、投資内容等によりこの数値は変動します。

■ 実質的に負担する運用管理費用
「株式重視型」 年0.204%（税込）程度
「均等型」 年0.212%（税込）程度
「債券重視型」 年0.22%（税込）程度
投資対象とする投資信託証券における報酬を加味した実質的な信託報酬の概算値です。この値は目安であり、実際の投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。

■ その他の費用・手数料
信託事務費用、監査報酬、印刷費用、売買委託手数料、外貨建資産保管費用等が支払われます。
※ 委託会社は、投資信託財産の規模等を考慮して、当該費用・手数料等の一部もしくは全てを負担する場合があります。
※ これらの費用・手数料等については、運用状況により変動するものであり、事前に料率や上限額を表示することができません。

*費用・手数料等の合計額は、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため表示することができません。

※ 詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞を必ずお読みください。

委託会社・その他の関係法人の概要

■ 委託会社　楽天投信投資顧問株式会社（ファンドの運用の指図を行う者）
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第1724号
加　入　協　会　：　一般社団法人資産運用業協会

■ 受託会社　三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理を行う者）

販売会社

商号等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○		
株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○		○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○		○	○
立花証券株式会社 ※	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第110号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行（インターネットバンキング専用）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※「楽天・インデックス・バランス・ファンド（債券重視型）」のみの取扱いとなります。

・お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申し出ください。
・販売会社は今後変更となる場合があります。

＜当資料のお取扱いにおけるご留意点＞
●当資料は楽天投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
●ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
●投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います。）に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
●投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
●当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
●当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。